

あけぼの通信 第 15 号

2022. 6. 1 (株)浜田あけぼの水産

ご挨拶

社長の室崎拓勝です。今漁期も大きなトラブルも無く 5 月末を持ちまして漁期終了となりました。浜田の底びき船は 6 月～8 月 15 日までは資源保護のための禁漁期間になります。この間は船と漁具のメンテナンスを行います。乗組員たちはメンテナンス後には夏休みとなります。今期の水揚げは、量、単価ともに若干の前年対比プラスとなりました。乗組員をはじめ関係者の皆様に感謝申し上げます。



職人紹介

あけぼの通信第 2 号（2020 年 4 月 1 日配信）でご紹介した佐伯茂樹工場長が、今年 6 月末をもって勇退することとなりました。茂樹工場長は御年 75 歳、半世紀以上にわたりこだわりの干物を作ってまいりました。

長きにわたり応援・ご愛顧いただいた皆様には、心より感謝申し上げます。



今回は、次期工場長に就任予定の佐々木浩一職人をご紹介します。佐々木職人は現在 35 歳の若手職人で、佐伯茂樹工場長の一番弟子です。師匠の技術はもちろん、魚の質や製品への頑固なまでのこだわりと心意気をしっかり受け継いでいます。若手とは言っても干物を作り続けてはや 14 年、魚の目利き・競りでの買付けから加工・出荷まで一貫して魚を扱うベテラン職人です。作業中は黙々と自分の納得のいく製品を作ります。



そんな彼ですが、家では 2 児のお父さんとして、家族サービスを欠かしません。スマホの中は家族の写真で埋め尽くされており、お父さんとしての家族愛が伝わってきます。7 月からは新工場長として、皆さまへより美味しい魚をお届けするため一層励んでまいりますので、応援のほどよろしくお願い申し上げます！

今月のお魚紹介 「マトウダイ」

マトウダイは、浜田では「ばとう」と呼ばれています。これは、顔が馬の頭に似ていることから付けられたようで、漢字で書くと馬頭鯛となります。標準和名のマトウダイは、漢字で書くと的鯛、これは、体側中央にある黒い斑点が弓道的に似ていることから付けられたようです。ちなみに、学名にはギリシア神話の最高神「ゼウス」の名が付き、ヨーロッパでは「サンピエール（Saint-pierre）」（聖ペテロの魚）と呼ばれているようで、浜田で呼ばれている馬の頭とはずいぶん扱いが違います。フランス、スペイン、イタリアなど地中海沿岸の国では、高級料理としてムニエルの定番となっています。



マトウダイは水深100m前後の海底に住んでおり、当社の底びき網でも沢山漁獲されます。口は大きく、餌を食べる時は両顎を前方に大きく伸ばし、餌を吸い込むように丸のみにします。大食いで、水揚げされた際にも、口から尻尾をはみ出させて餌を飲み込んでいるものも見られます。

その味は、白身で淡白、浜田のスーパーでは3枚におろしてフィレにされたものや、衣を付けてフライ用にされたものがパック詰めで販売されています。身がほぐれやすく、小骨がないため

給食や病院食などでも良く利用されています。獲れたての鮮度の良いものは刺身でもいけます。肝臓も一緒にいただくと乙な味を楽しめます。

当社でも、マトウダイのフィレをワンフローズンで凍結した商品を販売しています。手軽にフライやムニエルを楽しむことができますので是非ご利用ください。



浜田近況レポート

ここ浜田では、今年も底びき網漁の切揚げ（漁期終了）の季節がやってまいりました。毎年6月1日～8月15日までは底びき船は禁漁期間となるので、この間は修繕期間として船や漁具の修繕・手入れ・検査等を行います。これらの仕事が終われば、漁師達待望の夏休みが始まります。

5月31日、第五・第六、第十一・第十二あけぼの丸が入港しました。通常は荷下ろし前の深夜に入港しますが、今回は漁期の最終日なので日中に入港しました。早めに入港して、漁具の陸揚げを行うためです。



漁師達は漁期末のラストスパートで疲労が溜まっているはずですが、みんな達成感に包まれた笑顔で帰ってきました。常に言えることですが、無事に笑顔で帰ってきてくれることが何よりです。

入港したらすぐに漁具を全て陸に揚げ、船内を空っぽにして修繕・検査に備えます。

皆で協力し巨大な漁具を陸揚げ



底びき船には巨大な設備や漁具も多く、近くで見るとその迫力に圧倒されます。
もちろん、人力で引き揚げるのが困難な漁具については、クレーンで引っ張り上げま
す。



無事道具揚げが終われば、しばし休憩を取り、深夜から魚の荷下ろし（荷役）を行います。全て下ろして市場に魚を並べ終えたら、漁師達はこれで本当に漁期終了です！

いつもなら荷役が終わっても数時間仮眠を取った後にすぐ出港して行きますが、この日は皆心ゆくまで眠ることができます。

これから修繕期間となり、漁師達も陸上で忙しくはなりますが、それが終われば夏休み。漁師の皆さん、1年間お疲れ様でした！

今月の一句

